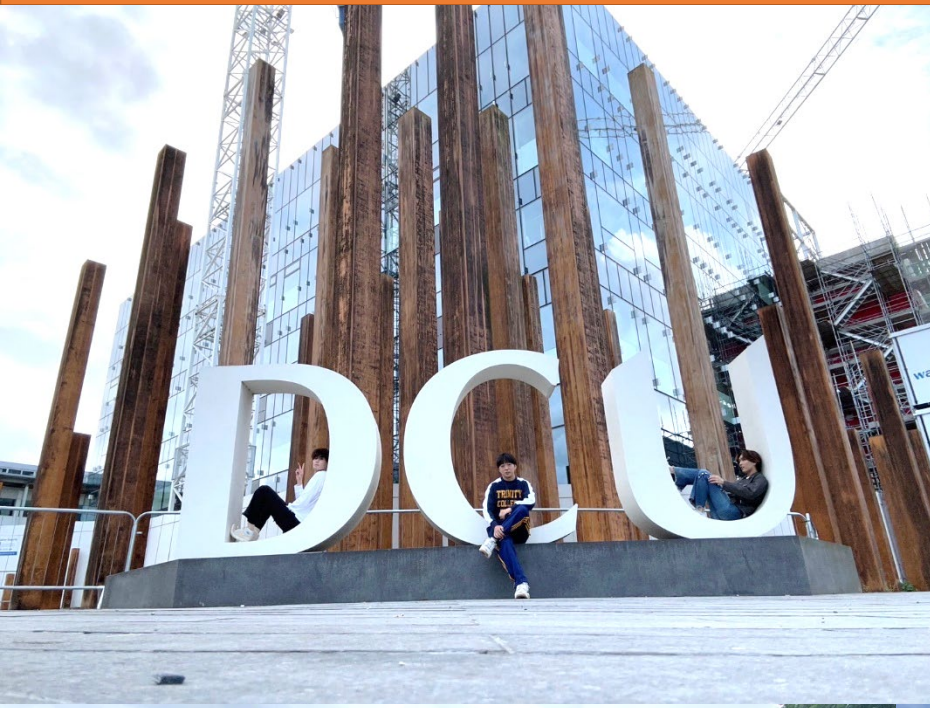
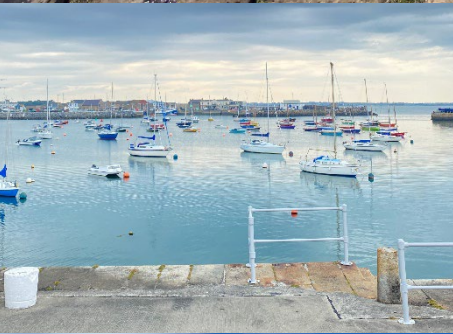


2023年夏渡航



2023年夏渡航



楽しみながら英語を学べて、英語力が上がりました！

工学部 機械工学科 3年 森 有輝斗さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可 派遣先：アイルランド・DCU

芝浦工業大学はスーパーグローバル大学に選ばれており、留学に力を入れていることを知っていたので、普段学校の勉強やバイトなどで忙しく、中々英語の勉強をする時間がないことや、海外の文化や人々に触れ合いたいという思いがあったので今年の夏休みの時間を有効活用するために1ヶ月間の語学研修を申し込むことを決意しました。滞在期間中の一日のスケジュールは午前9時から午後1時まではダブリンシティ大学の他国の留学生もいるクラスで英語の授業を受けて、午後は基本的に自由行動で大学が主催しているイベントに参加することもできました。授業の内容は文法を習ったり、テーマに沿ってグループディスカッションをしたり、クイズやゲームなどを通して英語を学びました。最初は先生の話す英語が速く感じ、内容が所々しか聞き取れなかったのですが、授業を重ねるごとに先生の言っていることの意味がスッと理解できるようになり、自分の英語力が少しずつ上昇していることを体感しました。また、留学の期間で英語の本を一冊読み、それを最後の週にクラスの前でプレゼンをしたのですが、英語の本を読むことや、プレゼンをパワーポで作ったり、発表内容を英語で考えるのはすごく大変でしたが、終わった後に先生に発音や文法の使い分け方を褒められたので授業で発音や文法が身についたことが分かり自信が付きました。平日の午後や土日はシティセンターや国内のツアーなどに行き観光をしました。宿泊は大学の寮でしたが、すごく綺麗な寮でルームメイトとご飯を作って食べたりしました。寮には他国の人もいるので中庭でサッカーを一緒にしたりして交流を深められました。1ヶ月という短期間の留学なので英語がペラペラに喋れるようになったかと言うとそんなことはありませんが、全体的に英語力が上がったことは確かだと思います。クラスには他国の留学生もいたのでグループワークを通じて他国の文化や感性を知れました。また、アイルランドは人々がフレンドリーで治安も世界3位以内であり、そういった意味ですごく留学に向いている国だと思います。学科や学年の垣根を超えて、大学の友達ができただけでも大きな収穫でした。もし、留学に行くか迷っているなら絶対に行った方がいいと思いました。英語力はもちろん海外の生活だけでなく得られないものがたくさんあります。



知らない文化, 自然, 人に触れられた一か月。
初めてだらけの環境で、英語に挑戦することができました。

工学部 応用化学科 3年 大熊 俊子さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否 : 可 ・ 不可

派遣先: アイルランド: DCU

英語を上達させたい、TOEICの点数を伸ばしたい、日常的に英語を使えるようになりたい。そう思いつつも、私は英語学習への熱意がさほどなかったため、英語の学習をずっとあと伸ばしにしていました。しかし、このままでは一生英語に取り組まないのではと危機感を感じ始めました。そこで1か月間海外へ行き、英語学習の意欲を高めようと決意しました。また、アイルランドという日本ではあまり馴染みのない国に惹かれアイルランドに行くことを決めました。

アイルランドでは、平日の午前中(9時-13時)毎日英語での授業がありました。留学前は、留学はするものの、集団(16人)で行くため、結局英語を話さないまま終わってしまうのではないかと不安に感じていました。しかし、現地での授業のおかげで毎日英語を使う時間があり、英語学習への意欲を高めることができました。クラスには芝浦の学生だけでなく、他国からきた学生も多くおり、ディスカッションをすることも多々ありました。そのため、より一層英語を使わなくてはという意識が高まり、英語に集中することができ非常に良かったです。

放課後は自由に行動することもできましたが、大学のプログラムもあり、それに参加する学生も多く存在しました。大学のプログラムにはダブリンの観光案内もあり非常に充実していたなと感じました。大学からバスで10分ほどするとシティーセンターという栄えた場所もあったため、そこで買い物や食事をしたり、美術館やダブリン城などへ個人で足を運ぶこともできました。

週末には、北アイルランドへ観光することもできました。アイルランドは本当に自然が豊かで、どこへ観光しにいっても新鮮な気持ちになれました。

アイルランドは日本と同じくらい治安がよく(一度財布を落としたのですが、無事戻ってきました)。自然の豊かな非常に素敵な国でした。プログラム内容的にも英語を使う機会がとても多かったため、英語への意欲、自信をもつことができました。行くか悩んでいる方は、是非勇気を出して参加してみてください！



ネイティブの先生の授業を受けることで、
日常生活で使える実用的なフレーズなどを、
学ぶことができました。

工学部 情報通信工学科 2年 玉田 湧也さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先：アイルランド、DCU

もともと英語が話せるようになりたいと思っていたので、なるべく早いうちに行こうと思い、このタイミングで語学研修に参加しました。せっかく海外に行くならなるべく長いほうがいいと思い、4週間のプログラムを選びました。4週間のプログラムにはほかにも、アメリカやマレーシアなどがありましたが、ヨーロッパに行ってみたいと思い、アイルランドのプログラムを選びました。

滞在期間中は、午前には4時間英語の授業を受け、午後にアクティビティをするという生活を送っていました。休日は丸一日遠いところに出かけたりしました。授業では、日本での授業と違って、クラス十数人しかおらず、常に討論をする、アクティブラーニングのような授業でした。討論の内容には、普段自分が意識していなかったような事柄があり、それについての討論をすることで、自分自身の見識を高めることができました。午後の自由時間では、シティセンターに出かけて大聖堂を見学したり、アイスを食べたり、買い物をしたりしました。今回の語学研修には食事が含まれていなかったのので、その点に関しては少し大変でした。

4週間という短い期間でしたが、間違いなく自分の英語力は上がったと思います。初週ではなかなか自分の言いたいことをスムーズに発言できなかったのが、後半になるとスムーズに受け答えができるようになりました。また、日本とは違った文化に触れることで、新たなものの見方に気づいたり、人としての成長もできたと思います。



自分の英語力の現在地を知ることができ、これからの英語学習に明確な目標を持つことができました。
また、これから海外に積極的に足を運びグローバルな視点を持てるようになりたいと思いました。

工学部 土木工学科 2年 小島 貫太郎さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先：アイルランド ダブリンシティ大学 (DCU)

大学入学時は英語に苦手意識があり、特にリスニングとスピーキングの能力が著しく欠如しており、意思の疎通など不可能な状態でありました。しかし入学時からその弱点をなくすべく入学後計画的に勉強していました。そのため多少の英語力は身につけてはいたのですが自分の明確な目標を持てておらず迷走状態でした。その目標を定めるために長い4週間の語学研修に参加することを決めました。

プログラムでは平日は朝9時から昼の1時まで15人程度のクラスで授業を受け、そこでは英語で会話をする機会が多くとても充実した時間が過ごせました。週に1回行われるテストでは自分の成長度合いを知ることができて非常に意味のあるものでした。様々な国から様々な学生が集まってくるので多くの人とコミュニケーションが取れて異文化交流となり英語学習のモチベーションが爆上げしました。平日の授業後はクラスで知り合った人と観光地に出かけたり、現地のレストランで夜ご飯を食べたりしました。出かけているだけでも多くの人に話しかけられて英語を話す機会が非常に多かったです。現地の人には話すスピードが非常に早く何度も聞きなおしてしまうことがありましたが実際にネイティブがどれくらい早く英語を話すのかを知ることができてリスニングにも一定の目標になりました。

土日は授業がないので、ゴールウェイの地方に足を運びました。アイルランド国内でいえることですが日本人が非常に少なく日本語版など日本人向けのものがほとんどないため英語以外何もないため英語だけの環境で学びたい人には非常にいい国であると思います。

この語学研修で自分に何の能力が足りていないかが明確になり目標をもってこれからの英語学習に取り組めるようになったと思います。

英語の勉強のモチベーションにつながります！

システム工学部 環境システム学科 3年
佐々木弘道 さん



参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： アイルランド・DCU

英語を話せるようになりたい思いと昔から海外の音楽や建築などの文化へ強い興味があったため今回このプログラムに参加することを決意しました。DCUでは平日の午前中に授業を受けて午後は自由に過ごすことができ4週間の語学研修の中で様々な場所に行くことができました。

私がこのプログラムに参加したときはDCUの学生寮に泊まり食事は自炊でまかなう形式だったため、芝浦の学生どうして料理をしたりその日の宿題を解いたりしていました。そのため芝浦の学生同士では自然に距離感は縮まっていきました。また、同じ寮内にDCUが受け入れていたウクライナの難民の方々でしたが、とてもフレンドリーで子どもたちと一緒にサッカーをしたり親しくなった人と散歩に行ったりとても楽しい経験ができました。

アイルランドで出会った人たちはとても親切で日本が好きな人も多かったです。アニメや音楽など好きなものの共通点があると英語が苦手で会話が続かなくても気持ちが共有できるため、とても話すのが楽しかったです。英語を喋れなくても伝えようとする意志があれば相手は真剣に聞いて理解してくれようとしていたので、とにかく英語で伝えようとするのを意識しました。

4週間は振り返ると一瞬でまだ訪れたかった場所もいくつかありました。限られた時間の中でやりたいことをやるために日本にいる時からもっと準備しておけばよかったと少し後悔しています。アイルランドは自分の中ですごく思い出のある場所になってしまったので時間を作ってまた訪れたいと考えています。また、次に行くときにもっとうまく英語でコミュニケーションをとれるように日々少しずつ勉強していこうと思いました。



街に出て文化を知り、英語を学ぶ！

デザイン工学部 デザイン工学科 4年 原田能亜さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： アイルランド DCU

留学をすることが夢でした。しかし、自分が大学に入学したときに新型コロナウイルスが流行し始め留学をすることができなくなってしまいました。また、コロナが落ち着き始めた頃に就活が始まり、なかなか留学プログラムに参加することができませんでした。しかし、今回のタイミングで念願の留学に参加することを決めました。アイルランドの特徴的な音楽とパブの文化に興味をいだき渡航先へ決めました。

滞在期間中は英語をツールとして利用し、その国の文化を体感することを意識して毎日を過ごしていました。放課後は積極的にシティセンターへ行き、街や人々の雰囲気を知り、週末は現地のバスツアーに参加し観光。色々な街へ行きました。街中に音楽が溢れていたり、至る所にパブがあったりなど、特徴的な街が多く、どの街も魅力的です。また、陽気な人が多くコミュニケーションも取りやすく感じました。街での英語では様々な学びがあります。最も伸びたと実感するスキルはリスニング。街中の英語は授業の英語と比べてはやく、リダクションもおおく、普段使わないような表現も多く出てきます。最初は全く聞き取れませんでした。しかし、英語に触れ合っていく中で少しずつ聞き取れるようになり、同時にドラマや映画、音楽なども聞き取れるようになりました。授業内の英語だけでは感じる事ができない上達だと感じています。ぜひ留学を考えている人は滞在中色々な場所へ旅をしてみてください。

留学前は“英語を習得したい”という目標のもと勉強していました。しかし、留学先の大学は他大学からの留学生も居ることで日本人も少なくなく、授業も基礎的なものだと感じ、「せっかく留学しているのに…」と感じることがあります。しかし、そういった中で与えられた環境に依存せず“英語を使ってなにをしたいのか”と目標を掘り下げ、自ら行動しチャンスを掴みに行くことの重要さをこの留学を通して学べた気がします。



英語圏の環境に身を置かれることで自分の語学力を知り、実践的な英語を学ぶことができました！

デザイン工学部デザイン工学科 1年 小山 瑚桃さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先：アイルランド・DCU

海外への渡航経験がなく、実用的な英語を学びたかったのと奨学金を利用して費用を抑えられるということでこの機会に語学研修に参加することに決めました。アメリカやアジアと違ってアイルランドには現地の人で日本語を喋る人がほとんどいなくて、フレンドリーな人が多かったのでたくさんの現地人と英語でコミュニケーションが出来ました。

DCUでは平日毎日4時間の授業があり、授業内容のほとんどがペアやグループでの話し合いをしながらのものでした。事前の簡単な英語のテストの結果によってクラス分けされていたので英語に自信が無い人でも自分に合ったレベルで授業を受けることが出来ました。同じクラス内には日本の留学生も多くいましたが、クラスでは英語で話さなければいけなかったのと間違ってもOKって感じの雰囲気作りがされていたのでむしろ気軽に自分の学んだ英語を使い、間違ってもその場で正しい英語を学べたのでとてもいい環境でした。ダブリンは自然が多く、癒されながら様々なアクティビティにも参加することが出来ました。夏はサマータイム制度もあり午後が長く感じるので少し遠出して海に行ったりショッピングをして英語で日常会話をよくしました。1ヶ月かけて新たな文化を知ることができ、また英語の自然な使い方を学べた有意義な時間になりました！落ち着いた生活で時間をかけて英語を学ぶことは自然に実践的な力を身につけることが出来ました。